

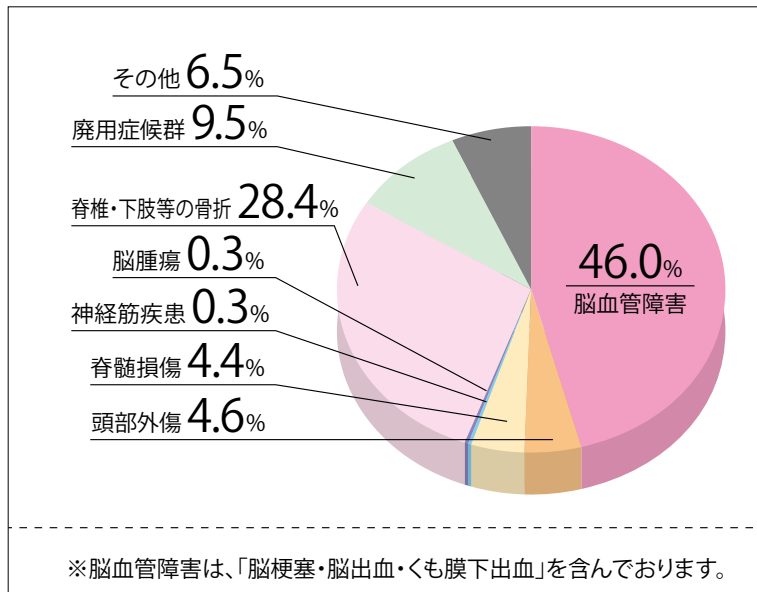
# 1- II 退院患者

退院患者 (n=878人)

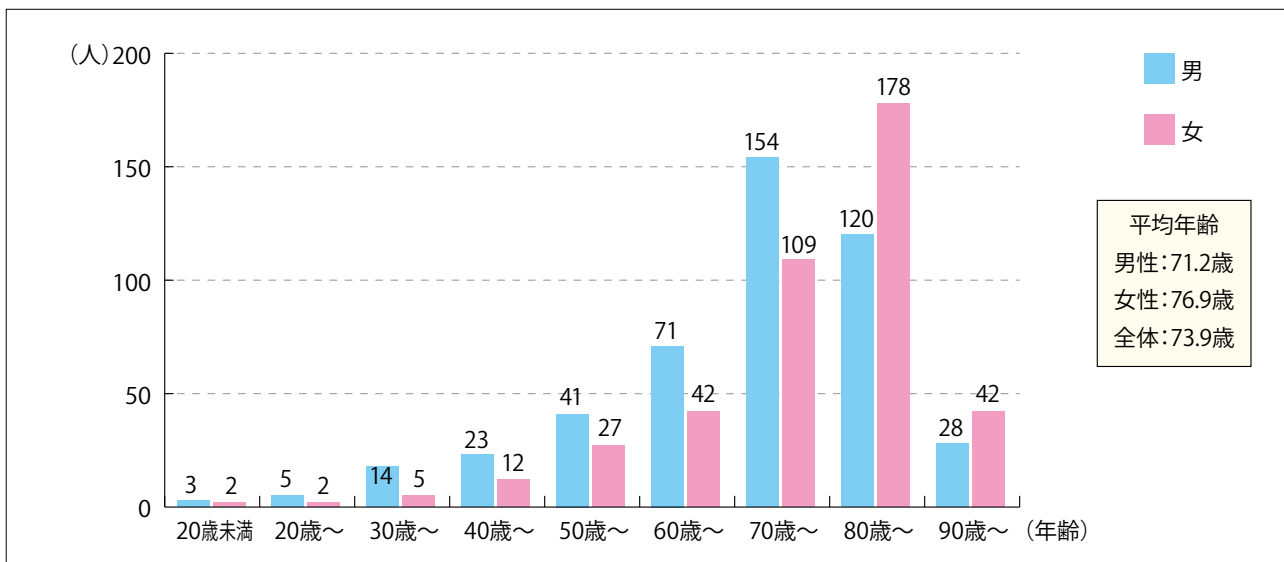
※同一者の同一疾患での再入院は1入院として扱っております。

※回復期リハビリテーション病棟協会が2020年2月に発表した「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書」内の全国平均値を、一部、当院の実績と比較しています。

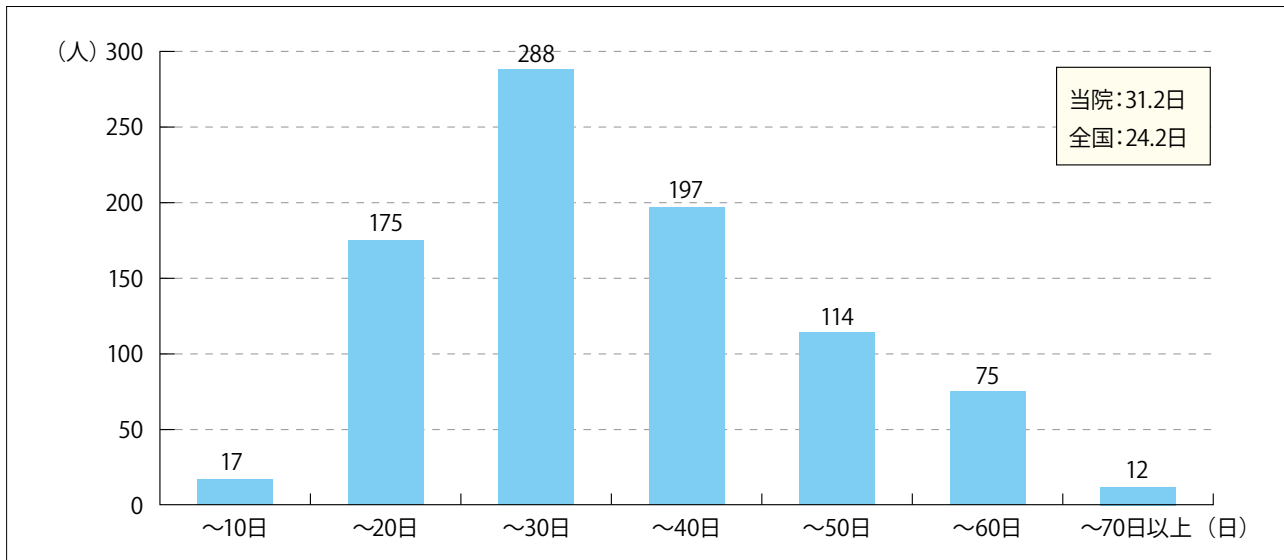
## ①疾患別患者数 (n=878)



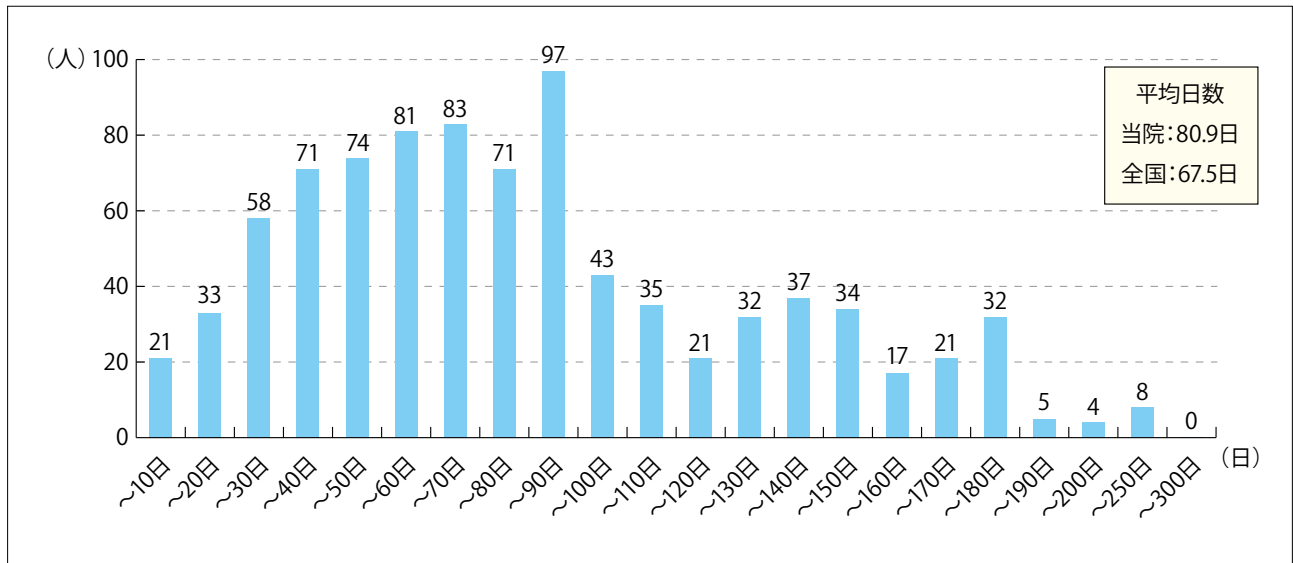
## ②年齢・性別構成 (n=878)



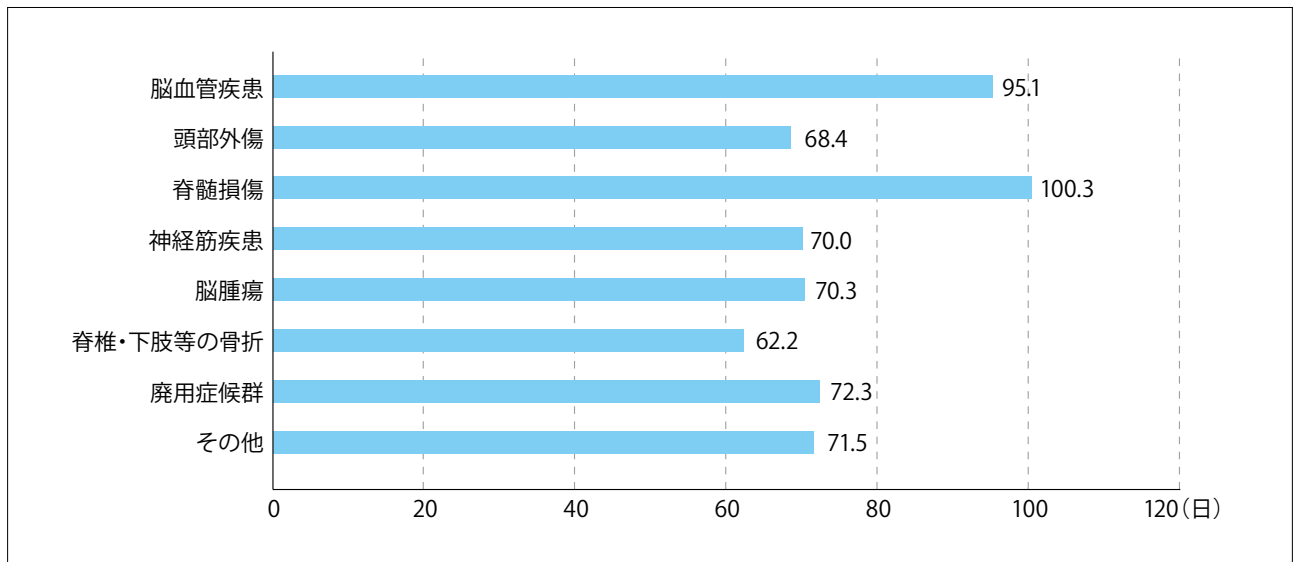
## ③発症～初回入院までの期間 (n=878)



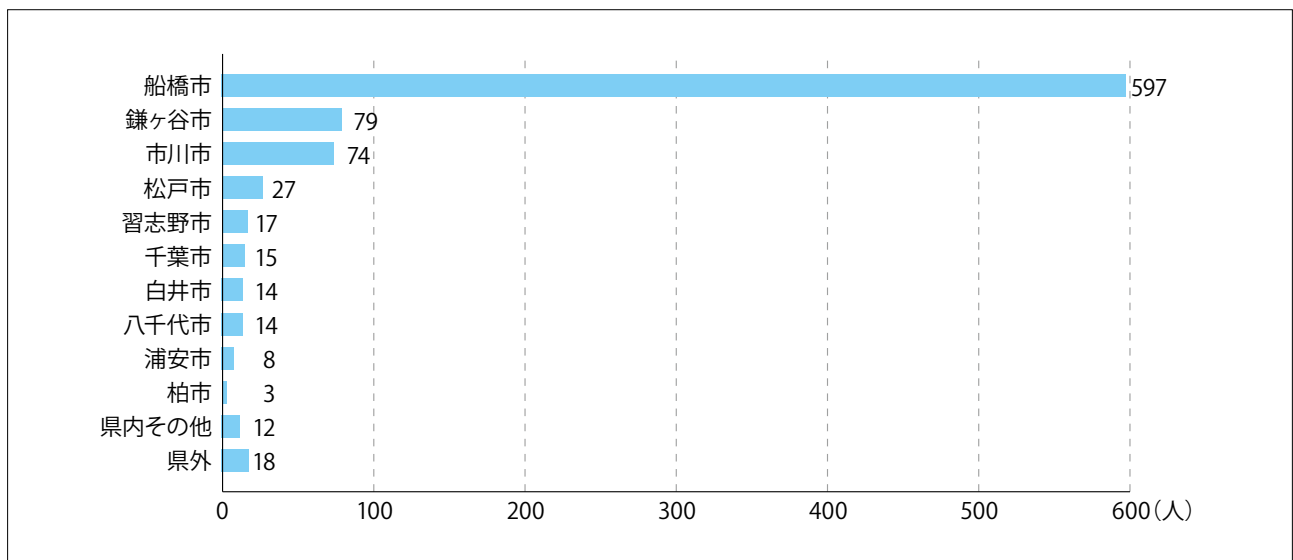
④在院日数 (n=878)



⑤疾患別平均在院日数 (n=878)

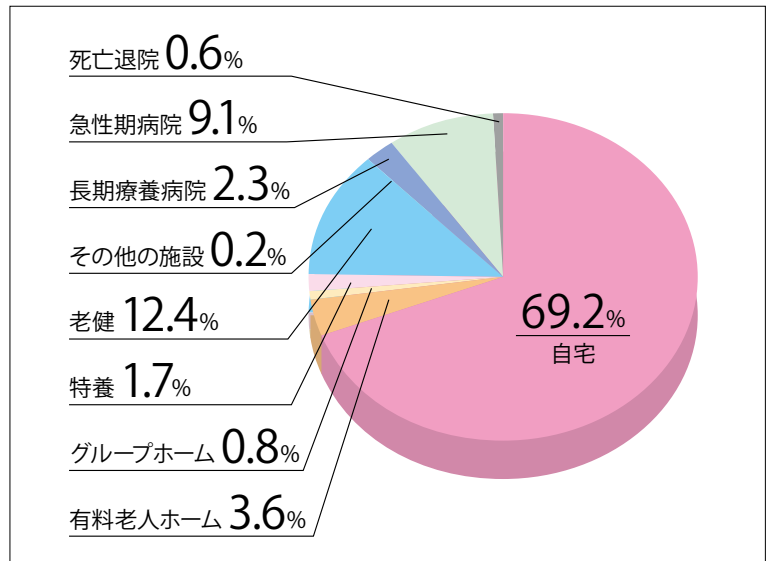


⑥患者住所 (n=878)

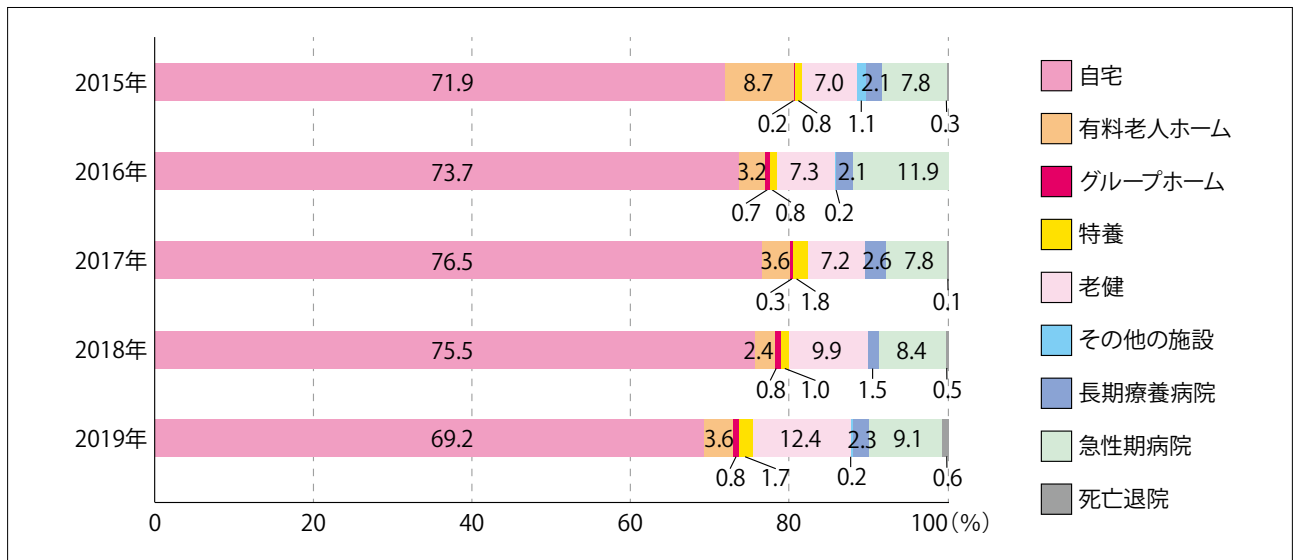


⑦最終退院先 (n=878)

自宅と居宅系施設を併せた在宅復帰率は75.5%でした



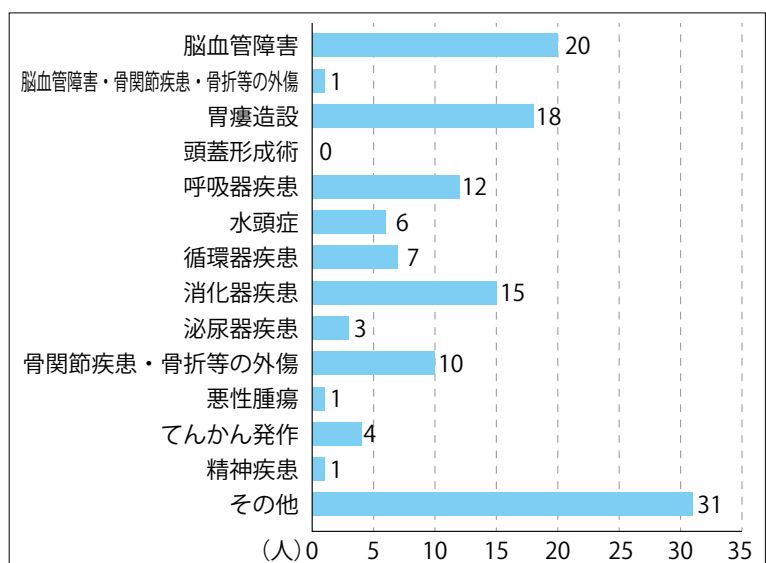
⑧最終退院先・年別 (2015年～2019年)



⑨他医療機関への治療目的での転院理由 (n=129)

重篤な合併症の発症等によりリハビリテーションの継続が困難、あるいは専門的な精査・治療が望まれる場合には、必要に応じて急性期病院（原則として紹介元病院）に転院し専門的な治療を受けていただいています。

昨年は129件の方が急性期病院に転院されました。治療が終了し、リハビリ再開が可能となりましたら当院に再入院いただけます。



### ⑩リハビリテーション実績指数

リハビリテーション実績指数とは、FIM 得点の改善度を、患者の入棟時の状態および在院日数を踏まえて指数化したものです。

以下の式により算出します。

$$\text{実績指数} = \frac{\Sigma (\text{退棟時の FIM 運動項目の得点} - \text{入棟時の FIM 運動項目の得点})}{\Sigma (\text{各患者の入棟から退棟までの日数} \div \text{患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数})}$$

厚労省の定めた基準では、この実績指数が「27 以上」であれば、一定の基準以上のリハビリテーションを提供していると判断されます。

また、2018 年度診療報酬改定により、当院が取得している「回復期リハビリテーション病棟入院料 1」では、実績指数が「37 以上」、「回復期リハビリテーション病棟入院料 3」では、実績指数が「30 以上」であることが要件となりました。

